

明日の大地

北海道新篠津高等養護学校

学校だより

令和2年度 第1号 4月28日発行

Tel 0126-58-3280

HP <http://www.shinko.hokkaido-c.ed.jp/>

令和2年度のスタートにあたって

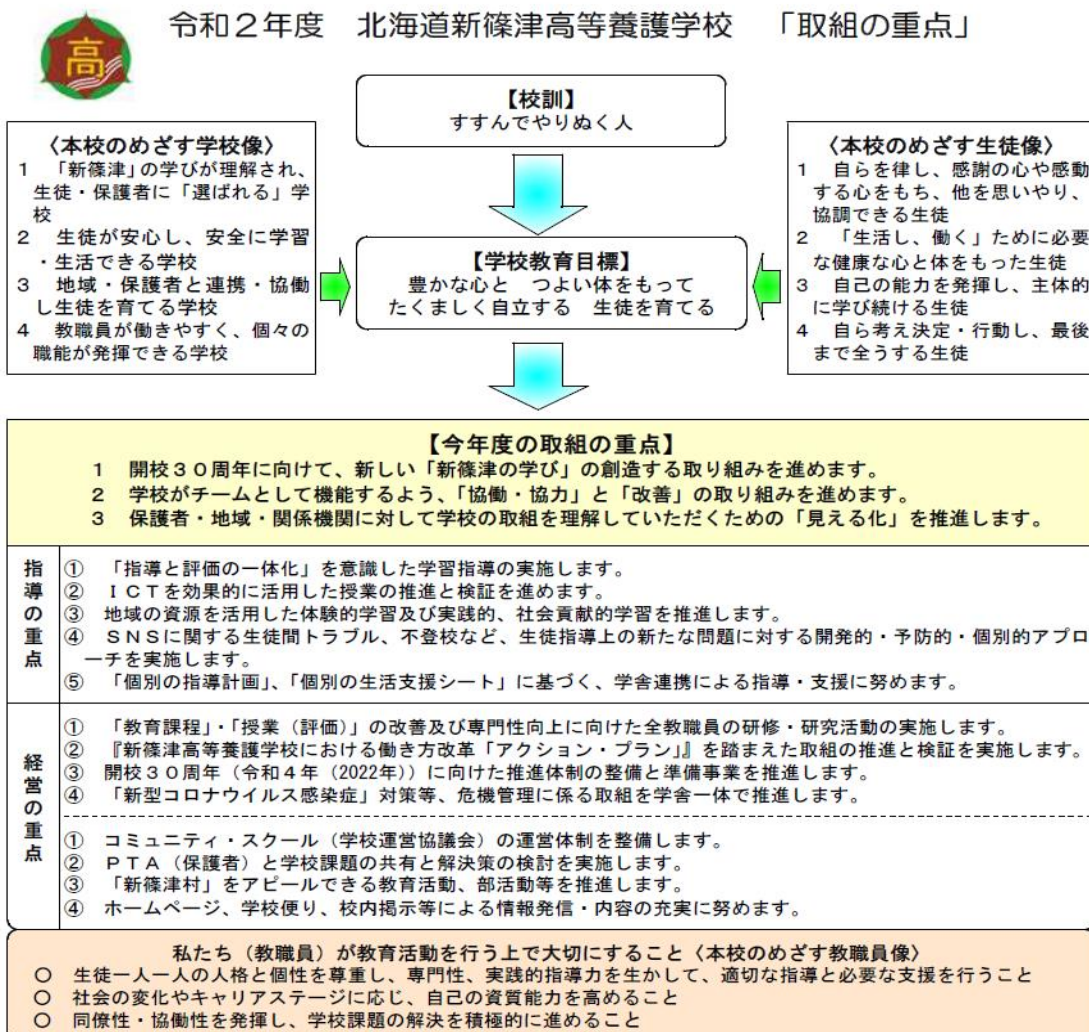
北海道新篠津高等養護学校長 久富正規

4月は、新しい環境での生活がスタートする時なので希望と期待が交錯する時でもあります。今年度は、昨年度末からの新型コロナウイルス感染症の影響によって不安な気持ちがいつも以上に大きかったのではないかと思います。このような状況で4月7日の開舎により再開しましたが、4月20日から5月6日まで再度臨時休校としなければならない状況に一日も早い終息を祈るばかりです。

このような状況の中、4月8日には、着任式、始業式、翌9日には、第28回入学式を挙行し、41名の1年生を迎え、2年生46名、3年生45名を合わせ132名（うち、寄宿舎入舎生120名）で教育活動をスタートしました。令和2年度は、学校、寄宿舎、事務を合わせ教職員105名で、「チーム新篠津」として更なる教育活動の充実・推進に向けて取り組んでまいります。生徒一人一人の成長と本校の28年目の歩みがより確かなものになるよう、保護者の皆様をはじめ地域の皆様の御理解と御支援、御協力をよろしくお願いいたします。



今号は、新年度の始まりの号ですので、令和2年度の方針などを次に紹介いたします。



入学式

1学年主任 近藤 和也

冬の寒さがまだ残る気温と、春の到来を感じさせる白鳥の姿が混在する新篠津で4月9日、入学式が行われました。生徒も保護者の皆様も、いろいろな不安や御苦労があってこの日を迎えたかと思いますが、無事に41名の生徒が入学式を迎えられたことに感謝を申し上げます。

入学式では緊張の中ではありますが堂々と入場し、入学許可の呼名を受け、元気に「ハイ」と返事をする声が体育館に響きました。続く新入生代表挨拶では木工科の佐々木猛さんが、これから始まる高校生活への抱負を力強く伝えてくれました。そして、寄宿舎も含めた高校生活がスタートしました。

高校生活がスタートして約1週間あまりで臨時休校になってしまいましたが、この期間中、学校生活や寄宿舎生活、仲間、先輩、先生などたくさんの「知る」ことを通して、戸惑いながらもいろいろなことにチャレンジしながら頑張っている姿が多く見られました。その中でも、生活単元学習で行われたレクリエーションでは、学級対抗スリッパリレーなどで学級学年の輪を広げ、「みんなで楽しむ、協力し合う」笑顔の取り組みでした。また高校生として「ルールを守る大切さ」「お互いを思いやる」「将来について」など、新篠津で学んでたくましく育ててほしいポイントも話をしています。

現在の臨時休校期間中も含め、社会情勢的になかなか外出は難しいですが、心身ともにリフレッシュしてGW明けのスタートを切りましょう。

本校の校訓は「すすんでやりぬく人」。将来の自立を目指して、私たち職員も全力で支援していきます。保護者の皆様には、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」作成についての御協力、日々の教育活動や寄宿舎生活など、様々な場面で御支援いただけますようお願い申し上げます。



図書室より

新型コロナウイルスの影響で、家で過ごす時間が増えている今、おすすめしたいのが読書です。「子供の読書キャンペーン～きみの一冊をさがそう～」というサイトには、著名人のおすすめする本や読書に関する情報がのっています。是非、ご活用ください。『読書は人生を豊かにし、不透明な時代を「生き抜く力」を養ってくれるのです。先ず好きな本を一冊、手にしてみませんか。』～教育評論家 尾木直樹(尾木ママ)さんの言葉より～

《編集後記》

長かった冬が終わり、いつものように訪れた春ですが、いつもとは違う状況で、いつも以上に不安や緊張が高まる中での新学期のスタートだったと思います。それにも負けず元気な声で登校してきた生徒たちに、私たち教職員も元気をもらう毎日でした。残念ながら感染が拡大し休校となってしまいましたが、社会の情勢にアンテナを張りつつ、今自分ができることは何か、一日も早く収束するためにはどう行動しなければならないか、一人一人が自覚をもって考えながら生活していかななくてはならないと感じます。

学校再開に向けて教職員も一丸となって、生徒の皆さんが安心安全に学校生活を送ることができるよう頑張っていきますので、今年度もどうぞよろしく願いいたします。



